

# F3 2018 JAPANESE FORMULA 3 CHAMPIONSHIP

# RACE REPORT

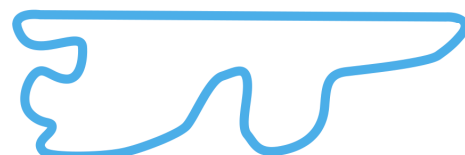
## Vol.08



### 第 18 戦/第 19 戦 10 月 13 日(土)/10 月 14 日(日) 富士スピードウェイ

〒410-1307 静岡県駿東郡小山町中日向 694  
TEL: 0550 (78) 1234  
<http://www.fsw.tv/guide/access/car.html>

at FUJI



コース全長 : 4,563m  
コース幅 : 15~25m  
高低差 : 上り最大8.88% 下り最大10.05%  
直線長 : 1,475m



10月13日(土)～14日(日)、全日本F3選手権シリーズ第8大会(第18戦、第19戦)が、静岡県の富士スピードウェイで開催された。2018年シリーズ最終大会であり、FIA世界耐久選手権(WEC)シリーズ第4戦富士6時間耐久レースと併催となる。今大会では、公式予選で記録したベストラップタイムで第18戦、セカンドベストラップタイムで第19戦のスターティンググリッドを決定する、通常通りのルールが適用される。

## ▽公式予選

30分間の公式予選セッションは、10月13日(土)午前11時30分から始まった。富士スピードウェイの天候は曇りで、気温は前日よりも低下した。WECのプラクティスセッションが終わった後、路面にはWEC用タイヤのタイヤカスが散らばって通常経験することのないコンディションとなっている。

1セット目のタイヤを装着し走行を開始すると、前大会でシリーズチャンピオンを決めた#36坪井選手をマーク、スリップストリームを利用してタイムアタックをかける作戦をとったが、操縦性は前日よりも悪化していると感じていた。

赤旗を挟み記録したタイムは1分34秒040。ピットに戻った後にチームと相談し、得意なセクター2で前日よりも強くなったアンダーステアを低減するためにフロントウイングのフラップを起こし、2セット目のニュータイヤを装着してコースインすると1分33秒720を記録。次周には1分33秒753、最終ラップに1分33秒741を記録してセッションを終えた。この結果、スターティンググリッドは第18戦で4番手、第19戦で3番手と決まった。

## ▽公式予選 結果

	Pos	No	Driver	Team	Time	Gap
公式予選 第18戦	1	36	坪井 翔/Sho Tsuboi	カローラ中京 Kuo TEAM TOM'S	1'33.309	-
	2	37	宮田 莉朋/Ritomo Miyata	カローラ中京 Kuo TEAM TOM'S	1'33.435	0.126
	3	8	片山 義章/Yoshiaki Katayama	OIRC team YTB	1'33.640	0.331
	<b>4</b>	<b>12</b>	<b>笹原 右京/Ukyo Sasahara</b>	<b>ThreeBond Racing</b>	<b>1'33.720</b>	<b>0.411</b>
	5	2	阪口 晴南/Sena Sakaguchi	TODA RACING	1'33.728	0.419
	6	1	金丸 悠/Yu Kanamaru	B-MAX RACING TEAM	1'33.888	0.579
	7	93	大湯 都史樹/Toshiki Oyu	TODA RACING	1'34.006	0.697
	8	5	大草 りき/Riki Okusa	Planex スマカメ・F3	1'34.310	1.001
	9	35	河野 駿佑/Shunsuke Kohno	RS FINE	1'34.437	1.128
	10	3	三浦 愛/Ai Miura	B-MAX RACING TEAM	1'34.724	1.415
公式予選 第19戦	1	36	坪井 翔/Sho Tsuboi	カローラ中京 Kuo TEAM TOM'S	1'33.330	-
	2	37	宮田 莉朋/Ritomo Miyata	カローラ中京 Kuo TEAM TOM'S	1'33.464	0.134
	<b>3</b>	<b>12</b>	<b>笹原 右京/Ukyo Sasahara</b>	<b>ThreeBond Racing</b>	<b>1'33.741</b>	<b>0.411</b>
	4	8	片山 義章/Yoshiaki Katayama	OIRC team YTB	1'33.767	0.437
	5	2	阪口 晴南/Sena Sakaguchi	TODA RACING	1'33.857	0.527
	6	1	金丸 悠/Yu Kanamaru	B-MAX RACING TEAM	1'33.967	0.637
	7	93	大湯 都史樹/Toshiki Oyu	TODA RACING	1'34.239	0.909
	8	5	大草 りき/Riki Okusa	Planex スマカメ・F3	1'34.349	1.019
	9	35	河野 駿佑/Shunsuke Kohno	RS FINE	1'34.442	1.112
	10	3	三浦 愛/Ai Miura	B-MAX RACING TEAM	1'34.817	1.487

## ▽第 18 戦 決勝

公式予選を納得しきれない操縦性で終えたことから、チームは午後 3 時 30 分から始まる第 18 戦決勝レースのために大幅なセッティング変更へ踏み切った。「前後サスペンションともスプリングとアンチロールバーを柔らかい方向へ変更し、フロントのキャンバーを増やして、アンダーステアを消すと共にジャダー（細かく跳ねる現象）対策を行いました」とエンジニアの伊与木。

決勝レースのためコースインが始まると、予選 2 回目のタイムアタックを行ったタイヤを装着し、スターティンググリッドに付くまでに好感触を得てスタートに備えた。

4 番手スタートからスタート合図の瞬間わずかに出遅れ、後方から #1 金丸選手がイン側に並んで 1 コーナーへ進入したため一旦 5 番手へ引くと、クロスラインを狙ってアウト側から #1 金丸選手のインへ向かった。ところが前方で #37 宮田莉朋選手と #8 片山義章選手がわずかに接触、#37 宮田選手がスピンしたため #1 金丸選手はそれを避けようと減速しながらイン側へ寄ってきた。笹原はインから前へ出ようと加速しようとしていたため避けられず、左前輪で #1 金丸選手の右後輪に乗り上げてしまった。この衝撃で左フロントサスペンションが曲がってしまい走行続行を断念してコカコーラコーナー手前のグリーンに乗り入れるとマシンを止め、リタイヤを決めた。



Pos	No	Driver	Team	Time	Gap
1	36	坪井 翔/Sho Tsuboi	カローラ中京 Kuo TEAM TOM'S	33'05.828	-
2	2	阪口 晴南/Sena Sakaguchi	TODA RACING	33'29.938	24.110
3	35	河野 駿佑/Shunsuke Kohno	RS FINE	33'36.321	6.383
4	93	大湯 都史樹/Toshiki Oyu	TODA RACING	33'38.126	1.805
5	5	大草 りき/Riki Okusa	Planex スマカメ・F3	33'38.225	0.099
6	37	宮田 莉朋/Ritomo Miyata	カローラ中京 Kuo TEAM TOM'S	33'41.094	2.869
7	3	三浦 愛/Ai Miura	B-MAX RACING TEAM	33'42.879	1.785
8	28	山口 大陸/Tairoku Yamaguch	TAIROKU RACING	33'56.135	13.256
9	30	DRAGON/DRAGON	B-MAX ENGINEERING	33'57.134	0.999
10	14	太田 達也/Tatsuya Ota	Albirex-RT	33'38.527	1 Lap

\*FL(ファステストラップ) : #36 坪井翔 (カローラ中京 Kuo TOM'S F317) 1'34.209 15/21

## ▽第19戦 決勝

夜半から降り出した雨で、日曜日の富士スピードウェイはウェットコンディションとなった。午前9時10分からの第19戦決勝レース前には雨は止みかかっていたが、路面は濡れたままで難しいコンディションとなった。「ハーフウェットのコンディションでしたから、ハイ・ダウンフォースかミディアム・ダウンフォースか、みんな迷っていましたが、我々はミディアムを選びました。ダウンフォースが少ないから大変だけど、後は自分で頑張れとドライバーを送り出しました。ローダウンフォースで闘わなければならないマカオ GPに向けても良い練習になるはずとっていました」とエンジニア伊与木。

ライバルのトムス勢、#36 坪井選手、#37 宮田選手ともハイ・ダウンフォースを選んでいた。濡れた路面でダウンフォースを減らせばコントロールが難しくなるがストレート速度は伸びる。ミディアム・ダウンフォースでトムス勢に対抗する目処があった。というのも、木曜日にドライバー自身がコースウォークを行い、コース各所でグリップする場所を確かめてあったからだ。

スタート合図でうまく加速し3番手でレースを始め、トップに立った#37 宮田選手、2番手の#36 坪井選手にぴたりとつけた。前を行く2台がオーソドックスなウェットコンディション時のライン取りをするのに対し、ほとんどドライコンディションでのレコードラインで走行、コーナーで小回りに向きを変え、立ち上がりでスピードを乗せていくスタイルで前の2台を攻め立てる。6周目、#36 坪井選手が#37 宮田選手とポジションを入れ替えた際、前の2車との間隔を一気に詰め、7周目に入るストレートで#37 宮田選手のスリップストリームに入ると1コーナーのインに飛び込み、2番手へ浮上した。勢いに乗って#36 坪井選手にも攻めかかろうとするが、この頃から#36 坪井選手も走行ラインを笹原同様レコードラインに近づける一方、笹原はタイヤの消耗を感じペースが落ち始めたため2台の間隔は少しずつ開き始めた。

3番手の#37 宮田選手との間隔は周回毎に開いていったが、#36 坪井選手との間隔も少しずつ開いていき2番手を単独走行、そのまま15周を走りきって2位のチェッカーフラッグを受けることになった。

シリーズ最終大会2レースを戦い、第18戦では無得点だったものの最終レースでシリーズポイント7点を加算、通算ポイントを65点としてドライバーランキング3番手で2018年シーズンを終えた。またThreeBond Racingは2番手と4点差のチームランキング3番手となった。



Pos	No	Driver	Team	Time	Gap
1	36	坪井 翔/Sho Tsuboi	カローラ中京 Kuo TEAM TOM'S	27'06.476	-
2	12	笹原 右京/Ukyo Sasahara	ThreeBond Racing	27'10.425	3.949
3	37	宮田 莉朋/Ritomo Miyata	カローラ中京 Kuo TEAM TOM'S	27'18.159	11.683
4	93	大湯 都史樹/Toshiki Oyu	TODA RACING	27'21.147	14.671
5	35	河野 駿佑/Shunsuke Kohno	RS FINE	27'27.795	21.319
6	2	阪口 晴南/Sena Sakaguchi	TODA RACING	27'33.186	26.710
7	14	太田 達也/Tatsuya Ota	Albirex-RT	27'39.674	33.198
8	3	三浦 愛/Ai Miura	B-MAX RACING TEAM	27'47.121	40.645
9	5	大草 りき/Riki Okusa	Planex スマカメ・F3	27'58.894	52.418
10	30	DRAGON/DRAGON	B-MAX ENGINEERING	28'04.030	57.554

\*FL(ファステストラップ): #36 坪井翔 (カローラ中京 Kuo TOM'S F317) 1'47.797 8/15

## ▽ドライバーコメント

第18戦で何も出来ないままリタイアしたので最終戦はなんとしてでも勝とうと思っていました。濡れた路面でもレコードラインを走れそうだということは、以前F1ドライバーのストフェル・バンドーン選手が雨の富士を走ったときの様子を見て学んでいて、木曜日にコースを歩いて路面を調べ、金曜の走行で確かめてあったので最初から狙っていました。レースでは良いペースで走り始めたので無理をせずできるだけタイヤを使わないように気を遣っていましたが、宮田選手を抜いてからはグリップのピークを過ぎてしまったようで徐々にペースが落ちてしまいました。でも最善を尽くし今シーズンの集大成として楽しめたレースでした。今年はいろいろなことを経験できた中身の濃い1年になりました。ランキング3位は最善を尽くした結果だと納得しています。ただ、第18戦でリタイアした結果、チームランキングで逆転することができなかったことだけが残念です。後はマカオGPです。市街地レースは初めてですが、自信はありますし、シリーズをいい終わり方で締めくくれたので思う存分闘ってきます



## ▽ランキング

順位	ドライバー	1	2	3	4	5	6	7	8	10	11	12	13	14	15	16	17	9	18	19	合計	点差
		鈴鹿	SUGO	富士	岡山	もてぎ	岡山	SUGO	富士													
1	坪井 翔/Sho Tsuboi	11	12	12	11	11	9	8	12	12	12	11	12	12	12	11	11	11	12	12	214	-
2	宮田 莉朋/Ritomo Miyata	8	7	7	8	0	10	11	7	7	7	7	2	5	7	8	3	7	1	5	117	97
4	笹原 右京/Ukyo Sasahara	3	0	2	2	6	5	5	0	DNF	3	0	3	7	5	5	7	5	DNF	7	65	149
3	阪口 晴南/Sena Sakaguchi	5	5	3	5	7	3	1	3	2	2	0	DNF	3	0	2	DNF	3	7	1	52	162
5	金丸 悠/Yu Kanamaru	2	2	1	0	2	1	3	1	3	5	3	7	0	3	0	5	2	0	DNF	40	174

\*DNS : Do Not Start 棄権 \*DNF : Do Not Finish リタイア \*DSQ : Disqualified 失格

\*1位10ポイント、2位7ポイント、3位5ポイント、4位3ポイント、5位2ポイント、6位1ポイント

PP(ポールポジション)、FL(ファステストラップ)は1ポイント追加

順位	チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	10	11	12	13	14	15	16	17	9	18	19	合計	点差
		鈴鹿	SUGO	富士	岡山	もてぎ	岡山	SUGO	富士													
1	カロラ中京 Kuo TEAM TOM'S	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	190	-
2	TODA RACING	5	5	5	5	7	3	1	5	5	2	5	0	3	1	3	0	3	7	3	68	122
3	ThreeBond Racing	3	0	2	2	5	5	5	0	0	3	0	3	7	5	5	7	5	0	7	64	126
4	B-MAX RACING TEAM	2	2	1	0	2	1	3	1	3	5	3	7	0	3	0	5	2	0	0	40	150
5	OIRC team YTB	0	3	0	1	0	0	0	2	1	0	2	0	0	2	1	2	0	0	0	14	176